

防コミの歩き方



ひよどり台防コミ！1年間の活動を振り返って…

ひよどり台防災福祉コミュニティは、平成13年1月に結成され、今日まで地域の防災活動を実施しています。また、同年8月、小・中学校生を構成員とする防災ジュニアチームを結成し、年間11回の活動を実施してきました。

神戸市北区の最も南に位置し、約8,300人が暮らすひよどり台では住民の高齢化が年々進んでおり、「災害が発生したらどう行動するのか?」「住民同士でどう助け支え合うのか?」など災害に対する課題が山積しています。また、エレベーターの無い5階建ての集合住宅で暮らす多くの方々の日常生活においても多くの問題が生じています。

これらを踏まえ、この1年間も活動を実施してきました。

1.防災福祉コミュニティ組織の活性化

年間活動初期の6月に防コミ役員、各ブロックの防災担当者、ひよどり台小・中学校の先生やPTA、北消防署職員、約40人が一堂に会し1年間の活動や行事計画を話し合いました。ここでお互いを理解し顔の見える関係を築くことができました。

1年間におこなった主な活動は、(1)市民防災リーダー研修、(2)市民救命士講習、(3)電話連絡網を使った情報伝達訓練、(4)2地区それぞれでのブロック防災訓練など。防コミ組織の活性化を図りました。



2.地域支援活動

街の安全安心と活性化を考えるうえで、防災力の要となる人材は、小学校4～6年生と中学生と考え、1年間活動を実施してきました。防



災訓練や研修だけではなく、夏祭りや地域の行事にも積極的に参加し、地域の防災啓発活動などもおこないました。また、「あんしんすこやかセンター」とも交流し、高齢者支援活動及び小さいお子さまの見守りを協力して実施しました。安心して過ごせる街になるよう、これからも地域と一丸となり取り組みたいと考えます。

3.防災ジュニアチームの育成

平成27年度から少年消防クラブ交流会(全国大会)に兵庫県代表として参加し、昨年8月3日から5日も宮城県南三陸町で開催された交流会に小・中学校生5人と指導者2人の計7人で参加、前年度より良い成績を残すことができました。

また、被災地を視察することができ改めて減災への誓いを強く感じました。

4.来年度へつなげる抱負

今年度も少年消防クラブ交流会に参加できるのであれば、地域、学校関係者、ご家族、北消防署の協力をいただき優秀な成績を残し、神戸市ひよどり台防災ジュニアチームの名を全国に広めたいと考えています。

(ひよどり台防コミ委員長：明石民雄)